

国連環境計画「水銀規制条約」づくりへ

来月7日から政府間交渉委



水銀規制をめぐる第1回政府間交渉委員会が開かれるストックホルムのホテル=UNEP電子版から

第1回政府間交渉委は、有害重金属である水銀の規制に関し、大気、土壌、廃棄物の取り扱いや規制の中身の全体像を11日まで5日間協議する。その後、5回の交渉で詳細を詰め、13年の第27回UNEP管理理事会に報告。同年の外交会議で採択する。

日本政府は、来年1月の第2回交渉委を千葉に、最終の外交会議を日本に誘致することを提案し、「水銀条約」としての考えを、5回の交渉委での討議内容は、製品と製造工程からの水銀削減▽国際貿易からの削減▽大気中への排出削減▽水銀供給の削減と安全管理▽水銀含有廃棄物と汚染地の特定▽科学的根拠に基づいた啓発▽途上国への技術・財政支援など。各国政府とオーストラリア参加が認められたNGOが意見発表する。

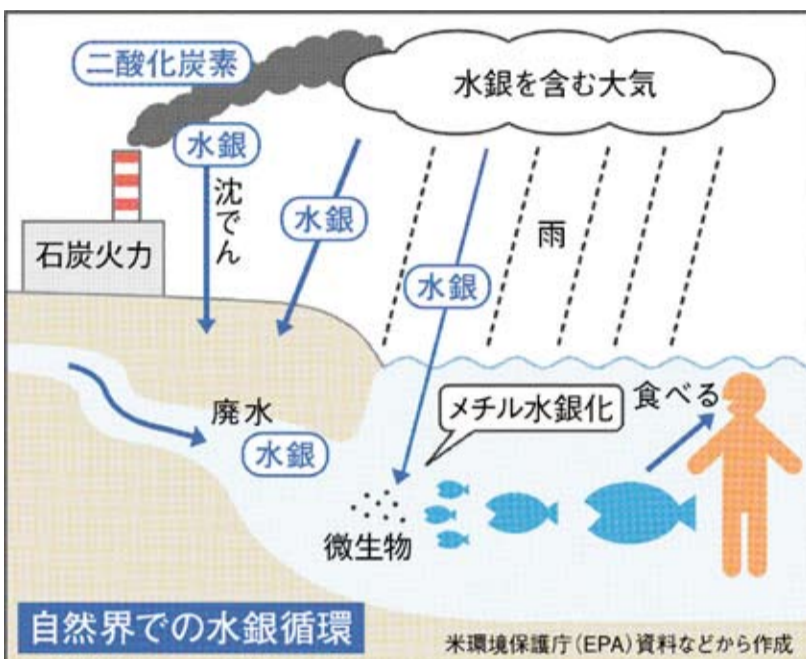
日本からは外務省 環境省、NGOの化学物質問題市民研究会(東京)が参加する。交渉役の一人、環境省環境安全課の関谷毅史課長補佐は「水銀病経験国としての教訓を生かし、水銀規制条約制定に向けた国際的な議論を主導したい。同時に水銀の使用や排出を減らす日本の環境技術が世界に使ってもらえるよう貢献していきたい」と話す。

日本から唯一参加するNGO、化学物質問題市民研究会の安間武氏は「水銀病を経験した日本が欧米に比べ水銀削減、輸出禁止、国内での永久保管対応で遅れているのはおかしい。積極対応するよう求めていきたい」と言っている。

排出削減、管理など議論

国連環境計画(UNEP)のもとで、2013年に「法的拘束力のある水銀規制条約」をつくることになった。そのための第1回政府間交渉委員会(INC1)が、6月7日からスウェーデンの首都ストックホルムで開幕する。水銀病の発生から半世紀以上がたち、世界百数十カ国の代表と各国NGO(非政府組織)が一堂に会し、水銀規制条約づくりをスタートさせる。論点をまとめた。(井芹道一)

水俣病 繰り返さない



汚染の仕組みは?

国連環境計画が最も懸念しているのは、石炭火力発電所からの大気中への排出。世界水銀アセスメントでも「汚染防止の中で最重要課題」と強調している。しかし、現状は中国やインドを中心に経済成長が著しいアジアの国々だけで、大気中への排出は世界の2分の1以上を占めている。2011年の水俣を含む9回にわたる「地球環境汚染物質としての水銀国際会議」での研究報告などで、次のような水銀汚染の仕組みも解明された。

「石炭を燃やすと大気中

食物連鎖濃度高まる

二酸化炭素(CO2)とともに水銀が排出される。それが雨などに落ちる。それを微生物が有毒なメチル水銀に変えていく。小さい魚を大きな魚が食べる食物連鎖で、マグロなど大型魚やクジラなど海洋性哺乳類で、水銀含有度が高くなる。

この悪循環を絶つ、水俣病のような健康被害を防ぐためには、条約で水銀の採掘、使用、排出、廃棄段階に網をかけて水銀使用を終息、発生源を絶つことが不可欠と国連では考えている。

なぜ今なのか?

国連環境計画(UNEP)が2002年にまとめた「世界水銀アセスメント」環境影響評価」で、水銀の健康、環境への悪影響が明確になった。特に中国やインドなど発展途上の急激な経済発展に伴い、環境中の水銀排出が急増。大気中を通じた地球規模で汚染が広がっていることもある。

石炭火力発電所や小規模金採掘、化学工場や廃棄物など水銀の汚染源は多い。欧州を中心とした科学者は、①メチル水銀は神経組織を損傷し、子どもの記憶など学習機能・発達障害を起す②成人も心臓・神経・血管、腎臓などに悪影響がある③川や海への垂れ流しによる魚介類の汚染を通じて、大きな魚が小さな魚を食べる食物連鎖で、地球規模でマグロなど大型魚の水銀濃度が高まっている④石炭火力発電所などから出る水銀が越境大気汚染と呼吸器疾患を起している」と警告。

このまま放置すれば、健康や知能に悪影響が広がる可能性があると判断した。

広がる汚染 地球規模

世界で広く使われている水銀含有製品

| 金属水銀 | 液晶テレビ、エアコン、パソコン、冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機、乾電池、ボタン電池、酸化銀電池、水銀体温計、血圧計、気圧計など計測機器、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯、金属ハロゲン灯、ネオン、歯科用アマルガム、スイッチ、継電器、サーモスタット、火災感知器、宝飾品、研究用計測機器、※苛性ソーダ・塩素電解用など |
|------|---|
| 無機水銀 | 塩化ビニル(触媒)、試薬、外用剤、電極、プラスチック、コンクリート、スレートなど建設廃材、塗料、朱の顔料、旧来の朱肉、朱墨、辰砂、※マンガン電池の陰極用など |
| 有機水銀 | 殺菌剤(保存剤)、ワクチン(防腐剤)、※農薬(殺菌剤)など |

※印は現在、日本では使われていない。UNEPと日本はじめ各国資料から

政府間交渉委への付託 水銀使用の終息策を

昨年2月にケニアのナイロビで開かれた国連環境計画(UNEP)第25回管理理事会が、6月7日に開幕する2013年まで5回にわたる政府間交渉委員会に付託した討議内容は次の通り。

共通認識

各国は水銀が人体と環境へ重大な影響を及ぼし、それを防ぐため直ちに国際的行動が必要であることを共通認識とする。

決定事項

水銀は地球規模で悪影響が懸念される化学物質。大気を通じて長距離移動し、いったん自然界に排出されると、分解せず、生態系の中で蓄積。人類と環境に深刻な影響を及ぼすこと

を理解する。

●地球規模の法的拘束力のある水銀規制は、途上国と経済移行国で効果的に導入されることを狙い、能力開発や組織強化、技術・財政援助が必要であることを認識する。

●健康被害と環境汚染防止のため、任意の対応を含む法的拘束力のある水銀対応で国際行動を起すことに同意する。

●13年の第27回管理理事会会までに政府間交渉委で「地球規模の法的拘束力のある水銀規制」を準備する。

●政府間交渉委では総合的な水銀対策をつくるため、①導入目的の明確化②水銀供給の削減と安全管理③製品と製造工程からの削減④国際貿易からの削減⑤

大気中への排出削減⑥水銀含有廃棄物と汚染地の特定⑦科学的根拠に基づいた啓発⑧能力開発と技術・財政支援⑨法令順守に同意する。

●政府間交渉委は、水銀使用の終息に向けた行動計画をまとめ、水銀を使わない代替製品と生産工程の開発を主導する。

●途上国などでは優先順位をつけて水銀削減を実施する。

●人為的な排出がもたらす人体と環境への被害リスクを予測・評価する。

●現在と将来的な水銀排出源を特定、代替技術の開発コストや効果を調べる。

●政府間交渉委にはNGOのオーストラリア参加を認める。

【なぜ地域や地方の対応では十分なのか】水銀の世界的循環の問題を拡大「環境への水銀蓄積の原因は、地球全体と同時に地域に地方にある。水銀排出の地域的な原因(廃棄物焼却・石炭燃焼施設)に加え、事実上すべての地域の水銀発生源が地球規模での堆積の原因になっている。河川や海流も長期的な水銀伝搬を媒介している。【全世界の漁業に影響】公海の多くの魚類は遠く離れた場所に移動する。魚類は捕獲されると、通常、商業用魚類は原産地から遠く

【難分解性で全世界を循環】水銀汚染で最も重要なのは大気中への排出。水銀は様々な汚染源から水や土壌に直接排出される。一度排出されると環境中ではほとんど分解されず、大気中、水、堆積物、土壌、生物相を様々な形態で循環する。水銀は全世界に貯留され、常に土壌と水との間で移動と蓄積を繰り返す。

【水銀濃度は危険】水銀と他の化学物質は極めて毒性が強く、特にメチル水銀は人間と野生生物に有害。この化合物は簡単に胎盤関門と血液脳関門を通過し、神経毒となり、特に成長過程の脳に悪影響を及ぼす。【水銀曝露は危険】水銀と他の化学物質は極めて毒性が強く、特にメチル水銀は人間と野生生物に有害。この化合物は簡単に胎盤関門と血液脳関門を通過し、神経毒となり、特に成長過程の脳に悪影響を及ぼす。【水銀曝露は危険】水銀と他の化学物質は極めて毒性が強く、特にメチル水銀は人間と野生生物に有害。この化合物は簡単に胎盤関門と血液脳関門を通過し、神経毒となり、特に成長過程の脳に悪影響を及ぼす。

【排出削減】①水銀鉱山や原料、製品の製造、水銀含有製品の灰化、埋め立て、焼却など。②水銀含有製品の製造、水銀含有製品の灰化、埋め立て、焼却など。③水銀含有製品の製造、水銀含有製品の灰化、埋め立て、焼却など。

【理解と国際協力を促進するには】「各国の使用状況、消費、環境への排出リストの作成、様々な分野での水銀の輸送、変質、循環経路に関する情報の把握、大気や大気内蓄積、魚類などにおける水銀濃度、人間や野生動物への影響測定と監視。様々な汚染源からの排出防止と削減策の策定が必要である。【UNEPと環境省資料から】

アヒム・シュタイナー国連環境計画事務局長



「水銀規制は歴史的合意」と喜ぶ国連環境計画(UNEP)のアヒム・シュタイナー事務局長(右)=09年2月20日、ナイロビ、UNEP電子版から

ミナマタへの責務

水俣湾内と周辺地域に住んだ人々は重金属中毒の本当の恐ろしさを知っている。被害者の肢体の變形は、水銀汚染の深刻さに加え、原因について長く否定されてきた苦しみを現している。

現在、世界の人の水銀曝露レベルは1932年から68年にかけて日本熊本県で起きた水俣病に比べればはるかに低い。だが、曝露は存在する。銀露レベルは1932年から68年にかけて日本熊本県で起きた水俣病に比べればはるかに低い。だが、曝露は存在する。銀露レベルは1932年から68年にかけて日本熊本県で起きた水俣病に比べればはるかに低い。だが、曝露は存在する。

【水銀曝露は危険】水銀と他の化学物質は極めて毒性が強く、特にメチル水銀は人間と野生生物に有害。この化合物は簡単に胎盤関門と血液脳関門を通過し、神経毒となり、特に成長過程の脳に悪影響を及ぼす。【水銀曝露は危険】水銀と他の化学物質は極めて毒性が強く、特にメチル水銀は人間と野生生物に有害。この化合物は簡単に胎盤関門と血液脳関門を通過し、神経毒となり、特に成長過程の脳に悪影響を及ぼす。

【排出削減】①水銀鉱山や原料、製品の製造、水銀含有製品の灰化、埋め立て、焼却など。②水銀含有製品の製造、水銀含有製品の灰化、埋め立て、焼却など。③水銀含有製品の製造、水銀含有製品の灰化、埋め立て、焼却など。

UNEP 世界水銀アセスメント

UNEPが水銀規制強化の基本としてまとめた「世界水銀アセスメント」環境影響評価」で、水銀の健康、環境への悪影響が明確になった。特に中国やインドなど発展途上の急激な経済発展に伴い、環境中の水銀排出が急増。大気中を通じた地球規模で汚染が広がっていることもある。

石炭火力発電所や小規模金採掘、化学工場や廃棄物など水銀の汚染源は多い。欧州を中心とした科学者は、①メチル水銀は神経組織を損傷し、子どもの記憶など学習機能・発達障害を起す②成人も心臓・神経・血管、腎臓などに悪影響がある③川や海への垂れ流しによる魚介類の汚染を通じて、大きな魚が小さな魚を食べる食物連鎖で、地球規模でマグロなど大型魚の水銀濃度が高まっている④石炭火力発電所などから出る水銀が越境大気汚染と呼吸器疾患を起している」と警告。

このまま放置すれば、健康や知能に悪影響が広がる可能性があると判断した。